

担当：高野真理子

2025.11

IAAL YouTubeチャンネル

「NCR2018対応コーディングマニュアル案の  
用語解説. 雑誌編」の続編です。



うちゅうた

大学図書館支援機構 (IAAL) YouTubeチャンネル

# 大学図書館の舞台裏

## 雑誌編：雑誌目録の実践

図書館員は目録という形で資料を解き明かし，利用者に情報世界をより広く提供する役割を担っています。大学図書館を舞台裏で支える雑誌の目録について，NACSIS-CATでNCR2018対応のコーディングマニュアルを使って，業務を実践する際のポイントを解説します。

# 情報源からの転記

TRフィールド

cover=表紙

masthead=題字欄

caption=題字欄

title page=タイトル・ページ

title screen=タイトル画面

(内部情報源)

単純！本タイトルの情報源の注記で、優先情報源がなかったこと（雑誌の種類）が分かる  
例）タイトルは題字欄による



# 情報源からの転記

TRフィールド

cover=表紙



## 4.2.1E (データ要素の情報源)

TRフィールドのデータ要素の情報源は、**和逐次刊行物**は、初号の**表紙**、タイトル・ページ（タイトル・ページ裏を含む）、キャプション、奥付、背またはジャケットの順で採用する。

**洋逐次刊行物**は、初号の**タイトル・ページ**を優先情報源として使用する。

title page=タイトル・ページ

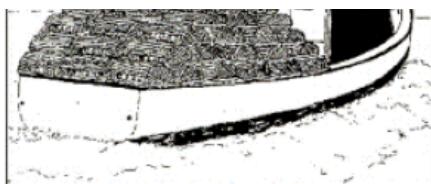


Figure 2.2.

## F2 (従属タイトル)

共通タイトルと従属タイトルおよび（または）順序表示は、原則として**同じ情報源上に表示**

## F3 (並列タイトルおよび並列タイトル関連情報)

…本タイトル等と**同一情報源**に表示されているもののみ

## F4 (タイトル関連情報)

タイトル関連情報は、本タイトルと**同一の情報源上**に表示された

単純！本タイトルの情報源と同一の情報源から並列タイトル、タイトル関連情報、責任表示を転記する＝あるもののみ書く

# 情報源からの転記

TRフィールド

これが最古号だった場合

7巻1号 表紙

7巻1号 奥付

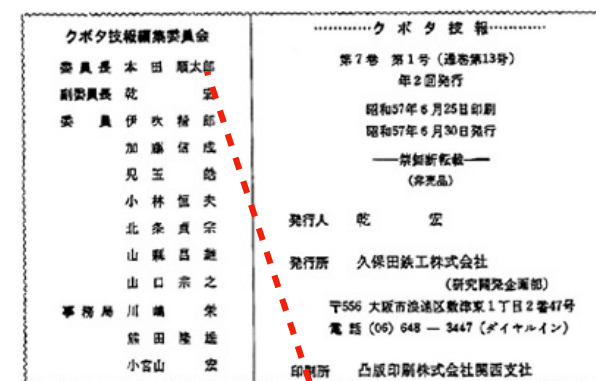
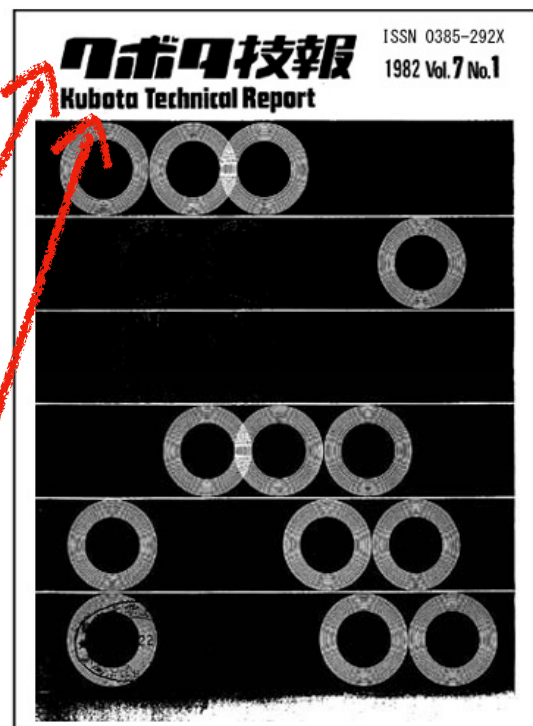
## 4.2.1E (データ要素の情報源)

TRフィールドのデータ要素の情報源は、**和逐次刊行物**は、初号の**表紙**、タイトル・ページ（タイトル・ページ裏を含む）、キャプション、奥付、背またはジャケットの順で採用する。

**洋逐次刊行物**は、初号の**タイトル・ページ**を優先情報源として使用する。

本タイトル

並列タイトル



この場合

責任表示は記述しない

**責任表示は、本タイトルと同一の情報源から採用する。**

TR:クボタ技報 = Kubota technical report

単純！本タイトルの情報源と同一の情報源から並列タイトル、タイトル関連情報、責任表示を転記する＝あるもののみ書く

# 情報源からの転記

TRフィールド

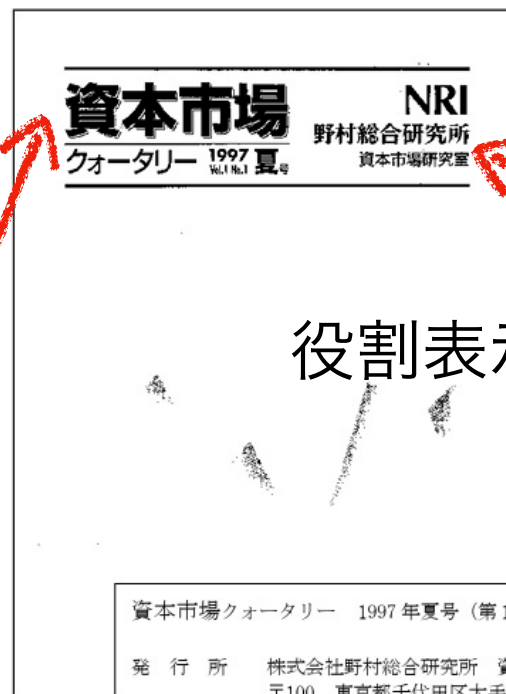
## 4.2.1E (データ要素の情報源)

TRフィールドのデータ要素の情報源は、**和逐次刊行物**は、初号の**表紙**、タイトル・ページ（タイトル・ページ裏を含む）、キャプション、奥付、背またはジャケットの順で採用する。

**洋逐次刊行物**は、初号の**タイトル・ページ**を優先情報源として使用する。

本タイトル

初号 表紙



責任表示

役割表示はないので記述しない

奥付

資本市場クォーターリー 1997 年夏号 (第 1 巻 1 号) 1997 年 8 月 1 日発行

発行所 株式会社野村総合研究所 資本市場研究室  
〒100 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル  
電話 (大代表) (03) 5255-1800  
FAX (購読申込み) (03) 5203-0639

年間購読料金 10,000 円 (2, 5, 8, 11 月 : 年 4 回発行)

印刷所 株式会社シーコーポレーション

本誌記事の無断転載・複写を禁じます

Copyright© 1997 by Nomura Research Institute, Ltd.

責任表示は、本タイトルと同一の情報源から採用する。

TR:資本市場クォーターリー / 野村総合研究所  
資本市場研究室

単純！本タイトルの情報源と同一の情報源から  
並列タイトル、タイトル関連情報、責任表示を  
転記する＝あるもののみ書く

# 情報源からの転記

TRフィールド

title page=タイトル・ページ

cover=表紙

## 4.2.1E (データ要素の情報源)

TRフィールドのデータ要素の情報源は、**和逐次刊行物**は、初号の**表紙**、タイトル・ページ（タイトル・ページ裏を含む）、キャプション、奥付、背またはジャケットの順で採用する。

**洋逐次刊行物**は、初号の**タイトル・ページ**を優先情報源として使用する。

Annual reportだけでは識別できない

Annual Report  
2030

ANNUAL  
REPORT  
2030

International  
Society of  
Astronomy

TR:Annual report / [International Society of Astronomy]

## F5.4 (総称的タイトルの責任表示)

本タイトルが総称的（ジェネリック）なものである場合は、**識別のために責任表示を必ず記録する。もし情報源に責任表示がない場合は、角括弧に入れて補記する。**（NACSIS独自規定）（→ 4.0.3）

例外！**総称的タイトル**の場合は、優先情報源になくても、責任表示を記述（補記）する

## F1.5 (回次・日付などを含むタイトル)

本タイトル中に、号ごとに変わる回次、日付、名称などが含まれる場合は、この部分を省略記号 (...) に置き換える。ただし、TR:Annual report とし、... annual report とはしない。

和洋とも（ただし「含む」場合）

# 情報源からの転記

TRフィールド

## 新聞やニュースレター

### 4.2.1E (データ要素の情報源)

TRフィールドのデータ要素の情報源は、**和逐次刊行物**は、初号の**表紙**、タイトル・ページ（タイトル・ページ裏を含む）、キャプション、奥付、背またはジャケットの順で採用する。**洋逐次刊行物**は、初号の**タイトル・ページ**を優先情報源として使用する。タイトル・ページがない場合は、表紙、キャプション、マストヘッド、奥付、背の順で採用する。

ただし、責任表示は、本タイトルと同一の情報源から採用する。

masthead=題字欄

caption=題字欄

和洋とも新聞やニュースレターは  
タイトル・ページがなく表紙もないと解釈する

NOTE:Titel from caption

NOTE:タイトルは題字欄による

# 情報源からの転記

TRフィールド

## 電子ジャーナル

### 4.0.4C (記述の情報源)

記述のための情報源は、以下の優先順位で採用する。

- 1) **タイトル画面**
- 2) その他の内部情報 (メニュー, プログラム記述, リードミー・ファイル, 索引など)
- 3) その他の情報源

従来の記述を行う上で基準となっていた初号は、単独の情報源として存在するとは限らず、情報源自体が最新のものに更新されることから、**確認できる最新の**情報源を記述の基準とする。

電子ジャーナルは例外！

**最新号**のタイトル画面の情報を記述の根拠とする

J-STAGE 資料・記事を探す J-STAGEについて ニュース&PR サポート

### 情報管理

情報管理誌は、2018年3月号（60巻12号）をもって休刊しました。投稿は受け付けておりません。  
これまでの掲載記事約1万件は、今後もJ-STAGEでお読みいただけます。  
[もっと読む](#)

国立研究開発法人 科学技術振興機構 が発行

[ジャーナル](#) [査読](#) [フリー](#) [HTML](#)

[休刊・廃刊](#)

[資料トップ](#) [巻号一覧](#) [この資料について](#)

J-STAGEトップ / 情報管理 / 資料トップ

収録数 10,110本  
(更新日 2025/10/28)

Online ISSN : 1347-1597  
Print ISSN : 0021-7298  
ISSN-L : 0021-7298

title screen=タイトル画面

# 情報源からの転記 VLJRフィールド

## 4.2.3D (フィールド内容とデータ要素)

VLJRフィールドには、逐次刊行物の各出版物理単位を順序付けする巻次及び年月次表示を記録する。

|            | 和文表記の場合                                                         | 欧文表記の場合                                                                 |
|------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 巻次・<br>年月次 | 数詞・数字は原則としてアラビア数字を使う<br><br><b>略語</b> は、情報源に略語が表示されている場合に限り使用する |                                                                         |
| 巻次         | 序数は、当該言語の標準的な序数を示す表記の形式で記録<br>日本語等では「 <b>第</b> 」を省略しない          | 序数は、当該言語の標準的な序数を示す表記の形式で記録<br>英語では「1st」, 「2nd」, 「3rd」,<br>「4th」などの形式で記録 |
|            |                                                                 | 各言語の大文字使用法に従い、巻レベルと号レベルの間は、コンマ、スペース(,)を挿入                               |
| 年月次        | 年月次の明治以降の元号は、頭1字のみに短縮する<br>「年・月・日」「号・版・度」など年月次の数字に付随する文字は、省略    | 各言語の大文字使用法に従って記録                                                        |
|            |                                                                 | 月名は数字に変換せず、情報源の表示通り( <b>略語に変えない</b> )                                   |

## F2.7 (合併号の場合)

和洋とも

記入すべき号が合併号である場合、合併号を一つの号であると見なし、号を切り分けては記録しない。  
その場合、対応する接続記号は、**スラッシュ (/)** を使用する。

以前は和は記号はそのまま

VLJR: 昭和34/35年度 (昭34/35) - 昭和63年度 (昭63) (情報源の表示: 昭和34~35年度)

# 情報源からの転記 VLYRフィールド

## 4.2.3 E (データ要素の情報源)

VLYRフィールドのデータ要素の情報源は、次の優先順位で選定する。ただし、識別又はアクセスに重要な場合は、a)よりもb)を優先して選択する。

- a) 初号又は終号の本タイトルと同一の情報源 (→ [4.2.1E](#))
- b) 初号又は終号の資料自体の他の情報源

巻次・年月次は識別やアクセスに重要な方の表示を選択する

## F3 (別形式の巻次・年月次表示, その優先順位)

別形式の巻次・年月次表示が存在する場合、原則として、他の書誌データと共通する表示よりも、その書誌データに固有な表示を優先採用する。

### F3.1 (タイトル変遷後の巻次)

変遷後に付与された巻次は、変遷前誌より引き継いだ巻次より優先使用する。

### F3.2 (固有の巻次)

当該の逐次刊行物固有の巻次は、他の逐次刊行物と共有する巻次より優先して使用する。また、全ての部編に共通する巻次とその部編に固有の巻次とでは、その部編に固有の巻次を優先使用する。

### F3.3 (2階層の巻次)

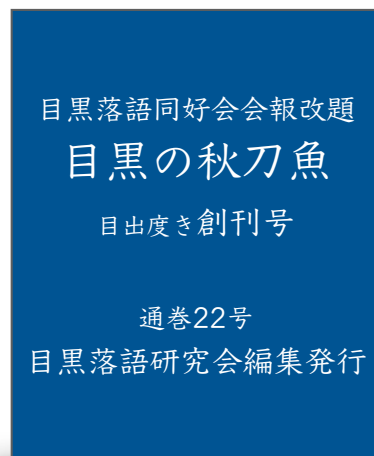
2階層の巻次 (巻号表示など) は、1階層の巻次 (通号表示など)  
VLYR:第1巻第1号 (昭36.1)- = 通巻第1号 (昭36.1)-

## F2.8 (複数の言語表示がある場合)

巻次あるいは年月次が、複数の言語もしくは文字で表示されている場合、本タイトルの言語、もしくは文字に対応する表示のみを記録する。

# 情報源からの転記 VLYRフィールド

例)



目黒の秋刀魚 Vol. 1, no. 1  
2026年1月号

VLYR:Vol. 1, no. 1 (2026.1) = 通巻22号 (2026.1)

=====  
目次  
創刊にあたって…

- ✓ 数字による順序づけがあるので「創刊[1]号」は採用しない。
- ✓ 本タイトルの言語は日本語ですが、2階層の巻次を1階層の巻次より優先するので「Vol. 1, no. 1」を採用。
- ✓ 「通巻22号」は変遷前誌より引き継いだ巻次なので表紙にあるが優先採用せず、併記。
- ✓ 年月次は「2026年1月号」から「年・月・日」「号・版・度」など年月次の数字に付随する文字は、省略して「2026.1」となる。

## F3 (別形式の巻次・年月次表示, その優先)

別形式の巻次・年月次表示が存在する場合、原則として、他の書誌データと共通する表示よりも、その書誌データに固有な表示を優先採用する。

### F3.1 (タイトル変遷後の巻次)

変遷後に付与された巻次は、変遷前誌より引き継いだ巻次より優先使用する。

### F3.2 (固有の巻次)

当該の逐次刊行物固有の巻次は、他の逐次刊行物と共有する巻次より優先して使用する。また、全ての部編に共通する巻次とその部編に固有の巻次とでは、その部編に固有の巻次を優先使用する。

### F3.3 (2階層の巻次)

2階層の巻次 (巻号表示など) は、1階層の巻次 (通号表示など) より優先使用する。

VLYR:第1巻第1号 (昭36.1)- = 通巻第1号 (昭36.1)-

# 情報源からの転記 EDとPUBフィールド

版や出版地・出版者・出版年は表紙やt.p.に無い場合が多い



奥付やeditorialページから  
とっても補記にしないで良い

Figure 2.2.

## 4.2.2E (データ要素の情報源)

EDフィールドのデータ要素の情報源は、次の優先順位

- 本タイトルと同一の情報源 (→[4.2.1E](#))
- 資料自体の他の情報源
- 資料外の情報源

## 4.2.4E (データ要素の情報源)

PUBフィールドのデータ要素の情報源は、次の優先順位

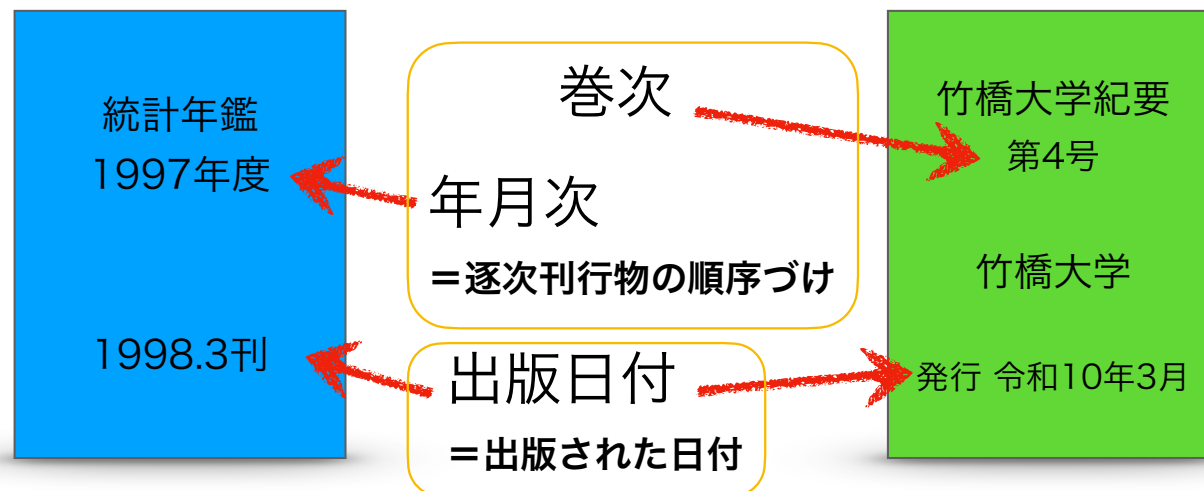
- 本タイトルと同一の情報源 ([4.2.1E](#))
- 資料自体の他の情報源
- 資料外の情報源

- ・ 本タイトルの情報源と同一の情報源が優先
  - ・ 無ければb)資料自体の他の箇所
  - ・ c)は補記[ ]
- b)資料自体の他の箇所 (この場合奥付) から  
とっても補記[ ]にする必要はない

# 情報源からの転記

PUBフィールドと  
VLYRフィールド

年月次と出版日付の違い



月は任意  
元号は西暦

## VLYRの記述方法

巻次がない→年月次で代用

例:1997年度 (1997)

年月次がない→出版日付で代用補記 例:第4号 ([令10.3])

## PUBの出版日付の記述

例:1998.3

例:2028.3

**YEAR**はPUBの西暦4桁の数字またはハイフン

例:1998

第4号が初号ではない例: 202-

# 情報源からの転記

PUBフィールドと  
VLYRフィールド

## 4.2.4 PUB F4.1 (出版日付が年次表示と一致する場合)

出版日付と年月次の表示が全部又は一部一致する場合も、これを記録する。

TR:新しい家庭科we||アタラシイ カテイカ we

VLYR:第1巻第1号 (1982.3)-第10巻第12号 (1992.1)

PUB:調布 : ウイ書房 , 1982-1992

TR:Social history

VLYR:1 (Jan. 1976)-

PUB:London : Methuen , 1976-

年月次でもあり、出版日付でもあるとみなせるケースが多い  
これが初号なら

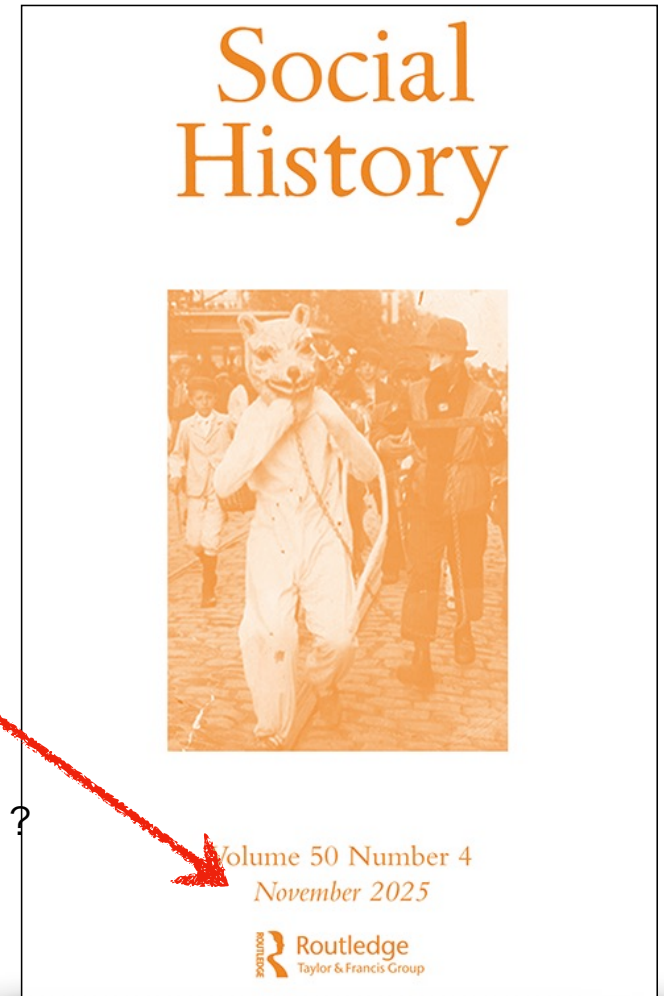
VLYR:Volume 50, number 4 (November 2025)

PUB:London : Routledge, 2025

## 2.2.4 F2.3図書のPUBと違って出版日付不明の記入方法が書かれていないのは？

[1970年代][2000から2009の間]等の例

出版日付を推定できない場合は、角括弧 ([ ]) で、「[出版日付不明]」または「[date of publication not identified]」、「[頒布日付不明]」または「[date of distribution not identified]」と記録する。...



November 2025という表示しかない

# 情報源からの転記

大文字使用法と略語使用法の考え方

→コーディングマニュアル 第51章 適用細則 付録 を参照

## #A.2 大文字使用法

#A.2.1.1.2 日本語、中国語、韓国・朝鮮語以外の言語の表示形

日本語、中国語、韓国・朝鮮語以外の言語の表示形は、#A.2.2～#A.2.7.3で指示しない限り、当該言語の慣用に従って大文字を使用する。 変更なし

## #A.3 略語使用法

#A3.1 通則 略語は、#A.3.2～#A.3.6、#A.3.8 に従って、使用する。指示がある場合は、表 A.3.7a～表 A.3.8 の略語を使用する。メートル法による単位の記号（cm など）は、略語として扱わない。→表 A.3.7a～表 A.3.8は使用しない

#A3.2 転記 情報源における表示を転記するエレメントにおいては、情報源に略語が表示されている場合に限り、略語を使用する。エレメントのすべてまたは一部を情報源における表示以外から補う場合は、略語を使用しない。

前スライドの例

VLJR:Volume 50, number 4 (November 2025)

2024.10.30以前の書誌では

VLJR:Vol. 50, no. 4 (Nov. 2025)

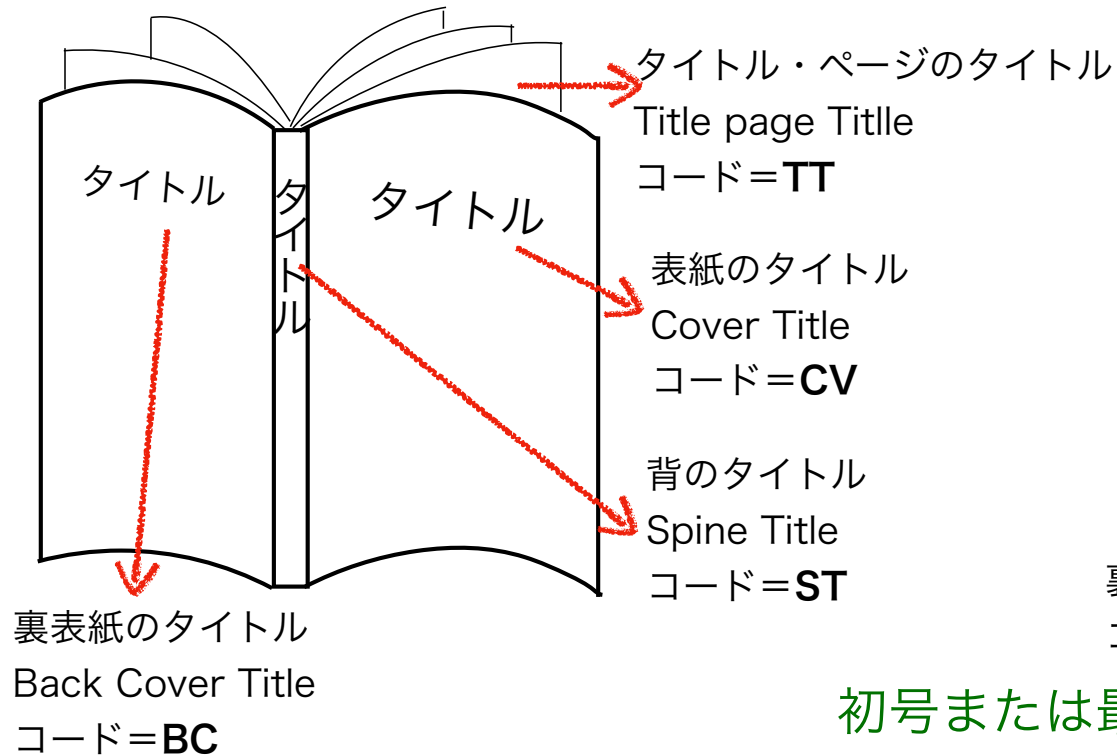
情報源の通り＝略語に変えない

AACR2の付録B 略語を使用

# その他の変更点

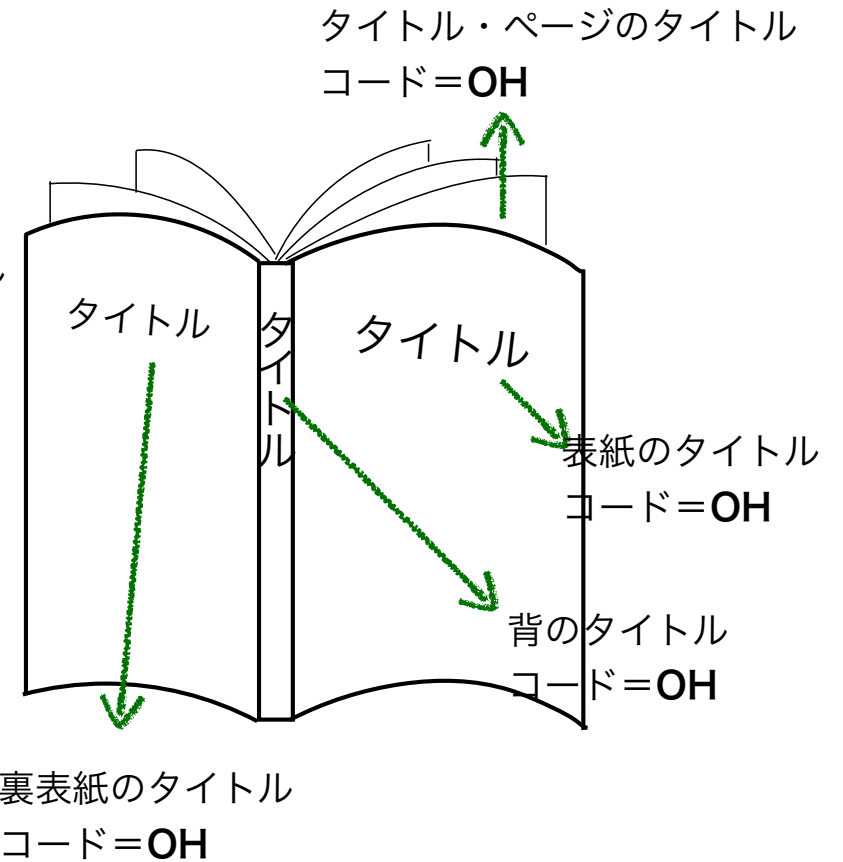
VTフィールド

大筋は、変更なし



初号または最古号（識別の基盤とした号）

←記述根拠号



初号または最古号（識別の基盤とした号）以外

NOTE:○号以降の裏表紙タイトル：～  
VT:OH:～

異なりアクセスタイトル(NOTEに説明不要)  
コード=VT

# その他の変更点

VTフィールド

VT:OHとNOTEはセット！

VT:LTとNOTEのセットは…

NOTE:○号以降の裏表紙タイトル：～  
VT:OH:～

LTはNCR2018対応で追加されたコード

## 4.2.7 NOTE F3.2.1 (タイトルに関する注記)

VT:LT:少女クラブ||ショウジョ クラブ

NOTE:後続タイトル: 少女倶楽部 (-第24巻第3号 (昭21.3))→少女クラブ (第24巻第4号 (昭21.4))-

VT:LT:Social science information

NOTE:Later title proper: Social science information, vol. 6 (1967)-

NCR2018以前の書誌では、VT:OH  
和のNOTE「本タイトルの軽微な変化:」  
洋のNOTE「Title varies slightly:」

2024.10.30以前に作成された書誌の  
記述方法も覚えておきましょう

# その他の変更点

## NOTEフィールド

### F3.1 (本システム特有の注記)

NCR2018注記は**必須2**

#### ア) 表現種別・機器種別・キャリア種別に関する注記

表現種別とは、表現形の内容を表現する基本的な形式を示す用語、機器種別とは、記述対象の内容を利用（表示、再生、実行など）するために必要な機器の種類を示す用語、キャリア種別とは、記述対象の内容を記録した媒体およびその形状を示す用語である。

これらはNCR2018においてはそれぞれ独立したエレメントであるが、本システムにおいては、表現種別・機器種別・キャリア種別の用語をひとつのNOTEフィールドにともに記録する。

用語は、それぞれNCR2018表5.1.3 表現種別の用語、表2.15.0.2 機器種別の用語、表2.16.0.2 キャリア種別の用語から選択する。目録用言語として英語を用いる場合は、表中の英語の用語を用いる。

記録に際しては、表現種別の用語に続けて「△(ncrcontent)」、機器種別の用語に続けて「△(ncrmedia)」、キャリア種別の用語に続けて「△(ncrcarrier)」の語を付加する。

複数のキャリア種別から成る場合は、各データを表現種別、機器種別、キャリア種別ごとに「,△」で区切り、列挙する。

NOTE:表現種別: テキスト (ncrcontent), 機器種別: 機器不用 (ncrmedia), キャリア種別: 冊子 (ncrcarrier)

NOTE:Content Type: text (ncrcontent), Media Type: unmediated (ncrmedia), Carrier Type: volume (ncrcarrier)

#### イ) 識別の基盤とした巻号についての注記

初号以外の号に基づいて書誌を記述した場合、その巻号の巻次・年月次について記録する。

NOTE:記述は第4巻第1号（昭58.1）による

NOTE:Description based on: Vol. 3, no. 3 (May/June 1975)

これは以前から  
VLYRに初号の情報が記述  
できない場合, 必ず

# その他の変更点

## XISSNフィールド

ISSN-LやISSN-Hの記述方法が追加  
(XISSNとNOTEのセット)

### 4.1.16 XISSN

3) ISSN-L (Linking ISSN) やISSN-H等の**クラスターISSN**など、当該書誌データ以外の書誌とも共有するISSN

XISSN:1346261X

NOTE:ISSN-L: 1346261X

ISSN-Lとは、Linking ISSNの略称です。同じ内容の出版物が複数の媒体で発行される場合、ISSNは媒体ごとに別々の番号ですが、ISSN-Lは媒体を問わず同じ番号になります。ISSN-Lは、ISSN-Lで結びつけられるISSNのうちのいずれか一つと同じ8桁の数字です。

例) 『国際子ども図書館の窓』

印刷物: ISSN 1346-261X ISSN-L 1346-261X

オンライン版: ISSN 2185-7474 ISSN-L 1346-261X

ISSN-LがISSNと同じ場合は記述不要

ISO 3297第6版により、ISSN-LはクラスターISSNの一種と位置づけ直されました。

[https://www.ndl.go.jp/jp/data/issn/about\\_issn.html](https://www.ndl.go.jp/jp/data/issn/about_issn.html) より

# その他の変更点

## ALフィールド

その他の情報（資料と個人・家族・団体との関連を示す「関連指示子」）は任意

### 4.4.1 D

TRフィールドの責任表示として記録されている団体、会議等については、原則として、当該名称に対応する各ALフィールドを作成する。

EDフィールド、PUBフィールド、NOTEフィールドに記録されている個人、団体、会議の名称等については、当該名称に対応する各ALフィールドを作成することができる。

TR:資本市場クォーターリー / 野村総合研究所資本市場研究室

AL:野村総合研究所資本市場研究室 ||ノムラ ソウ  
ゴウ ケンキュウジョ シホン シジョウ ケンキュ  
ウシツ <DA12126094>編纂者

TR:クボタ技報 = Kubota technical report

PUB:大阪：久保田鉄工, 1976-1989

## NCR2018 #44.1及び付録C 関連指示子（資料と個人・家族・団体との関連）参照

その他の情報（関連指示子）のガイドライン

「編集」の場合：創作者と捉え「編纂者」「compiler」

「発行」の場合：非創作者として「責任刊行者」「issuing body」

「編集発行」の場合：創作者と捉え「編纂者」「compiler」

※JPMARCSでは「編集責任者」（非創作者）としているケースが見受けられ、ままでもよい。

※USMARCSで創作者のauthorとしていたらそのままでもよい。洋雑誌ではCONSERの事例として、authorとしているものが多い。

※なお、複製資料の編集や発行は（図書と同様に）記述しない。

NCR2018の説明では、

**編纂者 compiler**（データや情報などの選択、編成、収集、編集によって、新たな著作（例えば、書誌、名簿）の創作に責任を有する個人・家族・団体。）

**責任刊行者 issuing body**（団体の公式機関誌のような著作を責任刊行する個人・家族・団体。）

**編集責任者 editorial director** 逐次刊行物、更新資料または複数巻単行資料の内容に、法的小よび（または）知的責任（創作を除く）を有する個人・家族・団体。